

会員のひろば

■ いつまでも健康で社会貢献

桜が丘三丁目 溝口力夫

会員の皆さんお元気ですか。“元気があれば何でもできる”僕はこのアントニオ猪木氏の言葉が好きで昔はよく使っていました。皆さんはいかがですか。

僕はシルバー会員に入会して早や5年になりました。自分ながらよく頑張っているなど思っています。入会して初めての仕事は草引き、集草作業で、次は「かしのき苑」のデイサービスで利用者さんへのお膳立ての仕事でした。家では台所に立ったことがまったくなかったので、最初はたいへん手間取りながら頑張りましたが、そのうち利用者さんに対して不備があってはならないと思い、事務局に相談してお断りしました。その次に紹介いただいたのが府立大学精華キャンパスでの公園の管理（おもに草刈り、剪定作業）でした。このとき剪定作業も体験させていただきました。

現在はデイケア「とちのき」で、利用者さんの送迎運転手をしています。今までいろいろと経験させていただきました。これもシルバー人材センターさんのおかげだと思っています。「とちのき」の送迎も安全運転を守りながら、急ブレーキ、急発進を避け、利用者さんの皆さんに安心して乗車していただき、自宅まで送迎していきたいと思えます。

まだまだ元気なので、今後もシルバーさんの仕事を請け負って社会に貢献していきたいと思っています。

世界中でコロナウイルス感染被害が広がってたいへんですが、もう少しの辛抱だと思えますので、感染の三密回避を守りながら、いっしょに頑張っ乗り越えていきましょう。



■ 仲間と末永く楽しく仕事を

桜が丘二丁目 畑康夫

入会して、数年になりました。ほんとうに入会してよかったと思っています。嫁さんが「シルバーに入ったら？」と言うので、それも有りだなあと考えて、事務所をたずねました。嫁さんにしたら、退職後毎日家でゴロゴロされて、「メシ」「小遣いくれ」と言われてはたまらんとしたのかどうか。そこらへんはよくわかりませんが、健康のためにも出歩くように思ってくれたというのはあったようです。

仕事をしてよかったのは、お金の値打ちを感じられたことです。お金を使うときは、「この額は、暑い中汗をダラダラ流して稼いだどのぶんのお金だろう」と考えて、すごく値打ちを感じます。自分のものでも、孫になにかを買うときでも「このお金があつてよかったあ」と思えるのです。

昔、バブルの頃、京都銀行のある支店長さんが「土地ころがしとかで、ひと儲けしようとかいうことはやめときなはれや。人間、汗水たらして働いて、そのお金をありがたいと思つて使うのがいちばん幸せでっせ」と言われていたとおりです。

仕事仲間の話が聞けることも楽しいです。しがらみなし、怖いものなしですので、一面の真理をついていて面白いです。何人かでの仕事と聞くと、「やった！」と期待してしまいます。

シルバー人材センターには、仕事をたくさん用意いただいて、これから年をとってもできる仕事を末永くさせていただけると願っています。



会員募集 — 当センターのご紹介を！

シルバー人材センターは、定年退職後等に、原則として60歳以上の健康で働く意欲のある精華町在住の高齢者の方々が、長年培われた知識・経験、技能を活かして、地域で活動していただくことにより、生活感の充実、福祉の増進を図り、高齢者の能力を活かした活力ある地域社会づくりをめざしています。

該当するお知り合い、ご近所の方がいらっしゃいましたら、当センターのご紹介をお願いします。